

東大野球部

New! メールマガジン Vol.04

しあがわし

梅雨が明け、記録的な猛暑日が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか？

野球部では、テスト期間も終わり、晴天の空の下、汗を流しながら練習に励んでおります。今週末には京大戦もあり、昨年のリベンジを果たそうと、練習に特に力が入ります。

合宿もあり、秋季リーグ戦に向けて頑張っておりますので、ご声援よろしくお願いたします。

東大野球部 今後の予定

〈京大戦〉

7月31日 vs 京都大学 @京大 13:00

〈七大戦〉

8月8~10日 七大戦 @愛知県刈谷球場

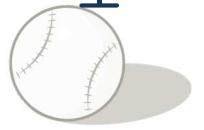
〈オープン戦〉

8月3日 vs 駿河台大学 @東大球場 13:00

vs 関西学院大学@関学大G 13:00

4日 vs 日本生命 @日生G 13:00

僕の野球人生



今回は、宮田内野手と山本学生コーチを特集します。宮田選手はいつもさわやかな笑顔で野球部の雰囲気明るくしてくれます。後輩の指導にも非常に熱心な選手です。山本学生コーチは、学生コーチとして冷静沈着にチームを指導しています。監督とのコミュニケーションを非常に重視しているようです。

宮田 拓也(四年内野手)

自分が野球をはじめたきっかけは、父のプロ野球観戦でした。

自分が小学生の時、仕事を終えて帰ってきた父は、夕飯を食べながらビールを飲み、テレビでよく阪神タイガースの試合を観戦していました。自分は初め、自分が見たい番組が見れないので、父の野球観戦があまり好きではありませんでした。そんなある日曜日、父は自分を阪神甲子園球場のデーゲーム広島戦に連れていってくれました。初めは阪神側のアルプススタンドで阪神の大応援に圧倒されていましたが、試合は延長戦の末、阪神がサヨナラ勝ちをおさめ、大盛り上がりでもとても楽しい思い出となりました。それから、小学生や中学の部活で野球をやるようになりました。

野球を始めてから10年ほど経ちますが、いままで一番思い出に残る試合は昨年度の09年秋季リーグ戦、立教第1戦です。エース対決、戸村前田の投げ合いで、1-0で一点を追う東大が最終回、同点とし、なおも二死一塁で自分が代打に告げられました。サヨナラのチャンスに打席が回ってきたのは人生初でした。そこで体が固くなってしまい、結局三振をしてしまいました。試合もその後1-2回の表に2点取られてしまい、負けてしまいました。あそこで試合を決められなかった悔しさが忘れられないです。これを糧にこれからもがんばってききました。秋にその成果を十二分に発揮したいと思います。応援よろしくお願いたします。

← 昨年秋季リーグ戦立教戦第1試合で打席に立つ

宮田選手



山本 和毅(四年学生コーチ)

私が野球人生において最も嬉しかったことは、中学3年時、4番捕手として県大会準優勝と北信越大会ベスト8を経験したことです。

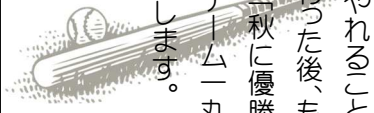
中学時代は、試合の日は朝4時半から、平日の夜はナイターの照明をつけながらウタウタになるまで練習していました。

試合では「打者がサインを決める」という「選手が主体的に考える野球」が徹底され、技術だけでなく思考力もよく鍛えられました。

この取り組みが結果上記の結果を残せたことを、中学野球という低いレベルではありますが、私は今でも誇りに思っています。

そして「トーナメントで6回勝ち上がるチームに所属していた」という経験は、それが中学レベルであったとしても、今の東大野球部に確実に活かせられることだと思っています。

リーグ戦開幕まで残り1カ月、学生コーチとして、選手を上手くし、チームを強くするために、やれることは全てやるつもりです。そして全てが終わった後、もう一度自分の野球人生を振り返った時に、「秋に優勝したことが最高の思い出」と言えるよう、チーム一丸となつて頑張ります。応援よろしくお願いします。



←リーグ戦にてベンチで安井選手と相談をする山本学生コーチ (写真中央)



編集後記

今回のメルマガはいかがでしたでしょうか。宮田選手も思い出の試合として挙げていた昨年秋季リーグ戦の立教戦はものすごく熱い接戦で、私たちも非常に印象に残っています。山本選手は中学のときの経験が今につながっているというのが、とても興味深いですね。

例年にならない暑さで、熱中症はもちろん、紫外線や光化学スモッグにも警戒せずにはいられない日が続いておりますが、どうぞお体にはお気をつけてお過ごしください。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5800

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

